

公衆衛生事業部 活動報告

第5回生涯教育研修会

- ✿実施日：令和5年10月19日(木)～25日(水)
- ✿開催方法：オンライン研修
- ✿申込者：108名
- ✿講義：「健康日本21(第二次)10年の取り組みと最終評価
～栄養・食生活分野の最終評価と今後の課題～」
講師：新潟県立大学 村山伸子 教授

✿アンケート結果（回答数52名、一部抜粋）

回答の92%以上が“理解できた”
“概ね理解できた”と回答

【講義の内容について】

○詳しい説明がわかりやすく、理解が深まった

- ・評価方法や現状と比較した目標設定などわかりやすく、詳細を知ることができた。
- ・項目ごとにデータや図表を示していただき、理解が深まった
- ・地域ケア個別会議帳票の関連づけ方が参考になった。

○成果と課題が理解できた

- ・食塩摂取量の減少、20代～60代男性の肥満割合増加など傾向を捉えることができた。
- ・栄養・食生活分野は多くの課題が残り、今後の展開について考えさせられた。
- ・健康日本21第三次の栄養・食生活のアプローチの方向性が見えてきた。

【実務への活用度について】

○市町村の計画に活用できる

- ・健康増進計画、総合計画の見直し、策定に活用できる。

○栄養指導に活用できる

- ・目標の設定がエビデンスや現状を考慮した信頼できる数値になっている。アプローチしやすく、アウトカムとして、数値化された改善効果としてみることができる。
- ・栄養相談においてより根拠のある説明ができ、説得力がある。

回答の88%以上が“おおいに活用できる”“活用できる”と回答

健康日本21（第二次）の取り組みと最終評価について、栄養・食生活分野の評価結果と各目標の評価に係る要因分析の他、全体の結果概要についてご講義いただき、理解を深めることができました。さらに、健康日本21（第三次）の計画について課題や方向性について詳しく説明いただき、健康課題の解決に向け、多分野の管理栄養士・栄養士が意識を高め、思考を深める機会となりました。参加者からは「各職域が連携しながらそれぞれの分野で取り組んでいけるとよい」「栄養士会としても目標達成のための具体的な対策（計画）を立ち上げ、成果を出せるような道筋を描く必要がある」等の感想があり、今後の展開を考える有意義な研修会となりました。